

## 平成 22 年度第 2 回県立長野図書館協議会議事録

1 日 時 平成 23 年 3 月 10 日 (木) 9 : 30 ~ 12 : 00

2 場 所 県立長野図書館第 1 会議室

3 出席委員 内野安彦委員、楠直樹委員、小林いせ子委員、田中春海委員  
平林香織委員、若林恵実子委員

### 4 会議次第

- (1) 開会
- (2) 館長あいさつ
- (3) 委員自己紹介
- (4) 職員紹介
- (5) 県立長野図書館協議会に関する諸規定
- (6) 会長選任
- (7) 館内視察
- (8) 会議事項
  - ア 県立長野図書館の概要
  - イ 意見交換
- (9) 閉会

### 5 会議の概要

(1) 会長選任 小林いせ子委員を会長に選任

(2) 県立図書館の概要について

事務局資料説明後、質疑応答

平林委員 20 年度と比較して 21 年度は児童図書の貸し出しや登録数が減少している。読書経験や図書館の魅力を伝えることが文化を伝承することになる。減少した理由はなにか。

事務局 減少したのは新型インフルエンザの流行により児童が来館を控えたことによる。現在は平常のペースとなっている。

小林会長 近世の古文書が 4 文庫あるが、所蔵の基準はなにか。また、今後の古文書の収集はどうか。

事務局 さまざまな古文書を寄贈いただいていたが、図書館では保存の問題があったため、平成 6 年から歴史館で保存するよう移管してきた。歴史館でマイク

口フィルムをつくり、それを提供いただいて利用に供している。今後も保管は歴史館でお願いすることになる。

小林会長 市町村誌の目次をインターネットで利用できるようにするとのことだが、市町村の了解は得られているのか。

事務局 図書館協会の事業であるため正式な了解をとっているかは定かではない。内容ではなく目次であるからということで準備を進めていると思われるが、改めて確認したい。

内野委員 22年度で様々な事業を行われていたが、振り返っての反省点、課題等あればお願いしたい。

事務局 夏休みに多くの子供たちが来て利用いただいている。普段の授業でも利用いただきたい。小、中、高、大のそれぞれの学校の図書館と補完しあえばよいのではないか。

また、県立図書館であるため、遠方の県民へのサービスは市町村図書館とさらに協力してサービスを行うことが必要。

小林会長 2、3年前から、玄関の飾りつけや本のPRの仕方など図書館が前面に出てくるようになったと感じるが、まだ足りないのではないかと思う。

さらに図書館を前に出してもらってよい。本の貸し借りだけでなく、文化を発信するところであるとPRしてほしい。

### (3) 意見交換

内野委員 長野県という広い県域をカバーしなければならない県立の大変さはよく理解している。要望になるが、ここ20年くらいの県立や市町村図書館のあゆみのようなものが編纂されていない。そうした軌跡をまとめていただければありがたい。その手法はいろいろあると思うが、他県から来た人間がこの20年を見ようとしても見えてこない。図書館概要はまとめているが、客観的データだけでなく、その年何が起こったのか、見ることができるものがあればよいと以前から思っている。

たとえば、どの年にどこの図書館が開館したとか、その年、どういうことが起きたとか、長野の図書館ではなにがあったのか、わからない。図書館は、その年その年の情報を残すところであるので、手法は別として、あって欲しい。

事務局 50年史まではあった。今回80年史をどうしようか検討したが、人手も予算もなく、詳細は決まっていない。作るとすれば、市町村図書館の代表の方にも編纂委員会に加わっていただいてやっていく必要があると思っている。

楠委員 一市民として長野市立図書館をよく利用させていただいている。子供と図書館に行くと、図書館は、行きやすい、借りやすい、本がたくさんある

といったことが大事であるとわかる。県立は、児童書は出版された本の7割を蔵書しているのはすごいと思う。土日、来年から始まる祝日開館には子供たちに来てほしい。ただ、図書館に入ると、暗い感じがする。2階の一般図書室は明るいので、玄関入口でも明るい雰囲気があればよいと思う。

事務局 この近辺の児童数が増加していない。したがって利用回数を増やすしかないのだが、両親の都合がつきにくいことも現実にある。親子読書推進の会もそうだが、なかなか活動がまわっていかない。子供は、どうしても大人がついていかないと利用できない面があり、そこが障害となっている。こうした中で、1人ひとりの利用をどうやって増やしていくか、これからの課題である。

玄関が暗いとのこと指摘については、予算厳しいなか、点灯する蛍光灯を減らして節約している。

田中委員 これまで主に市立図書館を利用していたが、きょうは本の多さに圧倒された。これだけ本があればどんな調べものでもできると思われた。私だけではなく多くの人に知ってもらえればと思う。また、「じゃんけんぼん」に来るお母さん方から、あまり本が多すぎると探すのが大変という声を耳にする。そのへんに難しさがある。

事務局 市町村の図書館は、住民のみなさんが手軽に読みたい本を読むことができるものであるが、県立は専門的な本、少し高価な本、郷土資料は網羅的に収集している。今話題の本がないといわれると確かにそのとおりだが、こうして市町村図書館とすみ分けをして本を収集している。

田中委員 こんなに高価な本が県立図書館にあるということがわかれば利用も進むと思われる。

事務局 蔵書とか利用の仕方をPRしていく必要性は、そのとおりだと感じている。

県立のホームページでは、館内の蔵書検索と県内図書館の横断検索ができるようになっており、県立にない本もどこの図書館ならあるかがわかるシステムになっている。また、図書館のカウンターには司書がいるので、本を探すに当たっては上手に活用していただきたい。

平林委員 田中委員から話があったようにPR不足は否めない。ここに児童書があって利用できることの認知度が低いと思われる。

人事により県立図書館から県短期大学図書館にも司書がきてもらっていて心強いのだが、司書の人事交流の範囲が限られている。小中高の図書館と大学図書館も視野に入れて図書館をイメージしていただければありがたい。横のつながりをもっと太くしていく必要がある。教育現場でも県立図書館にお願いしたいことは山のようにある。文系の教員は県立図書館なくしては仕事ができないほど利用度も高い。本学には近世の和書、和本が700点あまり、その中でも特

に価値が高い女子教育書と国文学書だとかが300点あまり蔵書されている。そうしたものを県立図書館でデータベースなり、PRを通して地域や県民の皆さんに公開されていけるようなアーカイブ化ができればよいと思う。たとえば、中学生や高校生が、江戸時代に読まれていた源氏物語の絵本を手にとって読むことができれば理想的と思う。

短大付属図書館と県立と歴史館がどういう組織になっていて、どういう蔵書があり、どういう利用のされ方をしているのか、お互いに情報交換できる場があればいいと思っている。

事務局 希望すれば、信州デジクラに入れるのではないか。

平林委員 それには入っているが、貴重書だけがアーカイブ化されている。もっと普通の和本を教育に使えたらいいと思う。

事務局 松本地域では大学との連携に真剣に取り組んでいる。県立も県内にたくさんある大学や短大と連携を図る必要がある。ただ、県立が音頭をとって県内の大学等との連携ができればいいのだが、予算面でなかなか動きにくい実態もある。必要なことであるが、できることからやっていきたい。

若林委員 児童図書室を拝見し、同じタイトルの本でもいろんな出版社の本が並べられている。コーラル文庫には調べ学習に使える本が新品でたくさん揃えられていて魅力的と思われた。

5月に司書教諭が集められる会議がある。そこで県立図書館から資料を出してもらえればありがたい。その会議のあと学校で読書週間の行事があるので活用できる。

CCS改訂で、学校現場では、読書の時間が多くなる。ここなら文学教材も多く活用できるが、大型絵本がもう少しあればと思う。

また、英語学習が入ってくるので、英語の絵本があればありがたい。

学校では、週2回の朝読書を大事にしているし、図書館に1時間連れて行く授業もある。教員も県立図書館のこうした蔵書を知っていればもっと活用できる。

事務局 もし必要な本があれば、リクエストいただくことができる。ただ、予算の都合もあるので、全部希望どおりできるかといえばお約束できない。

また、授業に使うとなれば貸し出しの制度も相互貸借としてある。

司書教諭の集まることがあれば、PRも大事であるので、ひと声かけていただければと思う。

小林会長 他県の県立図書館を参考にしているのか。

事務局 資料としては図書館概要くらいしかない。ただ、近県の図書館へは会議で出張し、長野県にはない取り組みも見てきた。

小林会長 建物はこれだけしかないの、いい取り組みがあれば取り入れられた

い。

それから、図書館として今の時期にこんないい本があるよとPRしていいと思う。

絵本ではなく児童書、ヤングアダルトの本は他の図書館でも多くあり、重複しないようにしていただいてPRしてもらえればありがたい。

小林会長 メルマガでもPRしているが、印刷物となるとお金もかかる。PRが足りないことは重々承知している。

平林委員 メルマガはモバイルにすれば携帯でも広く読まれる。

小林会長 図書館のPRが足りないということで終始しましたが、本日は以上で終了させていただきます。